

(別紙様式第9)

I D	
受付日	

※ 「ID」欄に修習専念資金IDを記載すること。

※ 「受付日」欄は、最高裁判所において記載するので、何も記載しないこと。

返還免除申請書

平成 年 月 日

最高裁判所 御中

私は、(最高裁判所から修習専念資金の貸与を受けていた者 / 最高裁判所から修習専念資金の貸与を受けていた者の保証人 / 最高裁判所から修習専念資金の貸与を受けていた者の相続人 / その他 ()) ですが、修習専念資金の返還の免除を求めたいので、下記のとおり申請します。

記

1 申請者

氏名 (自署)	フリガナ	名	押印欄
	氏		
現住所	フリガナ	(〒 -)	
	都道府県		
電話番号(自宅又は携帯(日中確実に連絡可能な番号))			※市外局番等は、左詰めとし、間に「-」を記入する。

2 修習専念資金の貸与を受けていた者(申請者が「本人」の場合は記入不要)

氏名	フリガナ	名
	氏	

3 返還免除事由(①又は②のいずれかを選択する。)

<input type="checkbox"/> ① 修習専念資金の貸与を受けていた者が、死亡により返還することができなくなったため	
添付書類	死亡診断書又は除籍謄抄本及び返還できなくなったことを証する資料
<input type="checkbox"/> ② 修習専念資金の貸与を受けていた者が、精神又は身体の障害により返還することができなくなったため	
添付書類	その事実及び程度を証明する医師の診断書及び返還できなくなったことを証する資料

【記載例】

修習専念資金IDを記載してください。

ID	
受付日	

- ※ 「ID」欄に修習専念資金IDを記載すること。
- ※ 「受付日」欄は、最高裁判所において記載するので、何も記載しないこと。

訂正する場合は、二重線で該当箇所を抹消し、必ず押印してください。



返還免除申請書

平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

最高裁判所 御

必ずいずれかを選択してください。

私は、(最高裁判所から修習専念資金の貸与を受けていた者 / 最高裁判所から修習専念資金の貸与を受けていた者の保証人 / 申請者が被貸与者、保証人、被貸与者の相続人以外の方(相続人以外の親族、雇用主等)である場合は、被貸与者との関係を記載してください。) 申請します。

1 申請者

氏名 (自署)	フリガナ シホウ	押印欄
	氏 司 法 五 郎	
現住所	フリガナ サイタマケン ワコウシ ミナミ	電話番号(自宅又は携帯(日中確実に連絡可能な番号))
	(〒 351 - 0104) 埼玉県 和光市 南 2-3-8-201	

戸籍姓を記載してください(旧姓・通称は不可)。フリガナは、必ず記載してください。

スタンプ式の使用はできません。朱肉で鮮明に押印してください。押し損じた場合は、余白に押し直してください。

悪い例

※市外局番等は、左詰めとし、間に「-」を記入する。

2 修習専念資金の貸与を受けていた者(申請者が「本人」の場合は記入不要)

氏名	フリガナ シホウ	イチロウ
	氏 司 法 一 郎	名 一 郎

申請者が「本人」の場合には記入不要ですが、他の方が申請される場合には必ず記入してください。

3 返還免除事由(①又は②のいずれかを選択する。)

<input checked="" type="checkbox"/> ① 修習専念資金の貸与を受けていた者が、死亡により返還することができなくなったため	
<input type="checkbox"/> ② 修習専念資金の貸与を受けていた者が、精神又は身体の障害により返還することができなくなったため	
添付書類	いずれかにチェックを入れてください。 死亡診断書又は除籍謄抄本及び返還できなくなったことを証する資料 その事実及び程度を証明する医師の診断書及び返還できなくなったことを証する資料